

(様式2)

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 裾野市立向田小学校 】

1 実践テーマ	①・II・③・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	裾野市立向田小学校 4年生20名、職員3名 裾野市障がい福祉課2名 裾野市自立支援協議会2名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・障がい者についての知識が少ない児童に、道徳的観点から障がい者への理解・共生、差別をしないような人格の形成づくり ・パラサイクリングを通じた自転車競技の啓発
5 取組内容	1 1月26日(火) 13:35~14:35 2 体育館にて 3 内容 パラサイクリング講演会 ○講師 日本パラサイクリング日本代表 強化指定選手 福井 万葉 (ふくい かずは) パラサイクリング広報担当 大西涼太郎 (おおにし りょうたろう) ○講演会(写真上) ・パラサイクリングとは ・障がい者への理解と共生について 等 ・福井選手への質問 自分の好きなどころ、過去のけが等 ○パラサイクリング車体験(写真中) ○振り返りとお礼(写真下)



6 主な成果	<p>今回対象になった4年生の児童は、10月に同じ地区に住み特別支援学校に通う同学年のこどもの交流会を実施している。この子は肢体不自由で発語はできないため、どのようにすれば交流を深められるかなど学級全体で考え、交流会を行った経緯がある。今回はそれらの経験を生かし、障がいを抱えていてもたくましくスポーツに向き合っている福井選手の話聴くことで、障がい者について更に理解を深め、共生について考える場となった。</p> <p>学級では事前に、道徳の授業やスポーツ庁監修のオリパラに関する参考映像などを視聴した。事後についても道徳の授業を行い児童の情操教育につなげたい。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 上記に記述したように単発のイベントとして終わらないように事業を実施した。また、事業において障がい者を可哀想という目でなく一人の人間として見られるよう事前の道徳等で配慮した。 • スポーツ庁からいただいた資料やDVDを事前事後の学習に役立てた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 単発のイベントとして終わらないように事業を実施する。 • 児童が、事業において障がい者を可哀想という目でなく、一人の普通の人間として見られるよう事前の指導をする。
9 来年度以降の実施予定	<p>来年度以降については、現時点では未定である。今後校内で実施する年度末の教育課程編成会議において具体案を考えていきたい。ただ、昨年・一昨年は全校児童を対象にこの事業を行い活用してきたこともあるので、来年度は対象を広げていきたい。ただ、コロナウイルス感染などの問題もあるため、リスクマネジメントについて十分な検討を行っていきたい。</p>